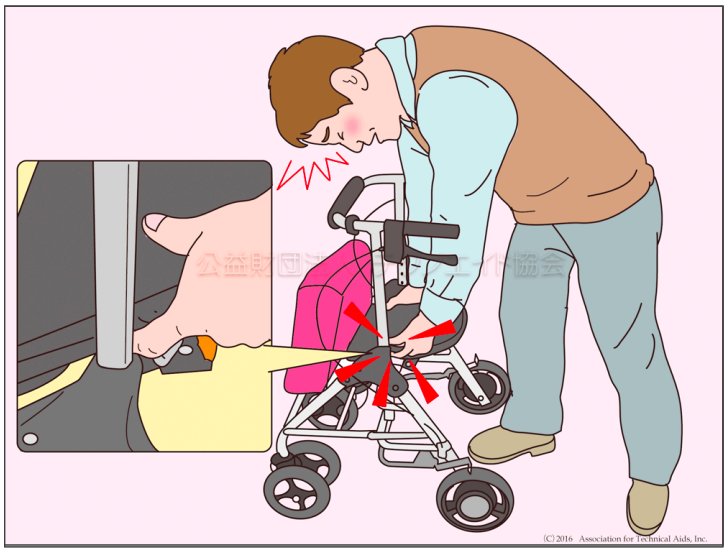
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：315

座面高さ調整時に、フレームの隙間に指を挟みそうになる

場面の説明

歩行器の座面の高さを調整しようとして、指を挟みそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行器の座面を調整する際の指の持って行き方が悪く、挟みそうになった事例です。
歩行器の構造や機構によるところが多く、説明書通りの調整方法で行えば危険は少なくなります。
ただし、実際には説明書を見ずに使われることが少なくなく、メーカーレベルでの工夫も求められます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：説明書にある安全な調整方法を知らないで我流でやろうとした
モノ：指を挟み込みやすい構造や機構だった
環境：十分な明るさがなく、細部が見えにくかった
管理：メーカーからの注意喚起が不足していた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：315

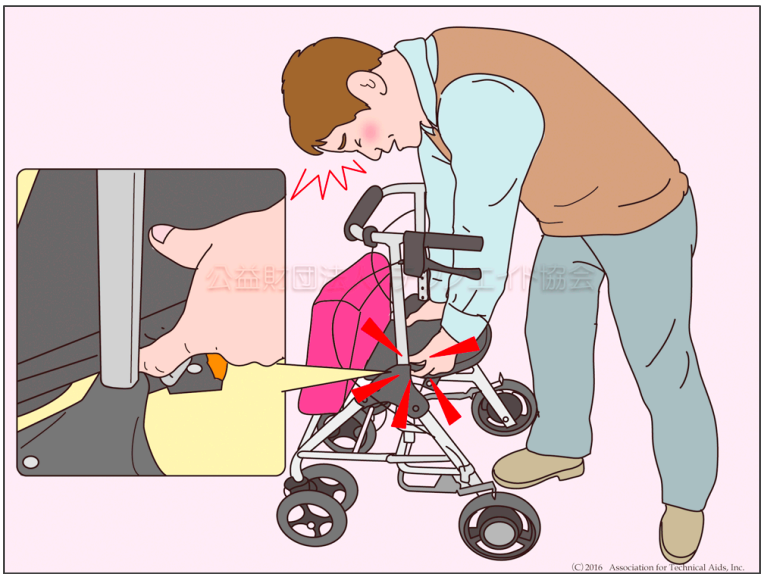
座面高さ調整時に、フレームの隙間に指を挟みそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

歩行器の座面の高さを調整しようとして、指を挟みそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.